

別紙様式1

R4番10号

令和4年2月20日

公益財団法人流通経済研究所
理事長 青山 繁弘 殿

申請者（事業実施者）において、文書番号による管理を行っていない場合は不要です。

（応募者）

所在地 特定非営利活動法人フードバンク

団体名 県市 1 - 2 - 3

代表者氏名 代表理事

令和3年度フードバンク支援緊急対策事業に係る課題提案書

令和3年度フードバンク支援緊急対策事業に係る課題提案書を、別添のとおり関係書類を添えて提出します。

課題提案書等の提出の際はこの書類と、別紙様式2「課題提案に係る計画書」をご提出してください。

フードバンク支援緊急対策事業のうち フードバンク活動団体の食品受入能力向上支援

課題提案に係る計画書

事業実施年度： 令和 3 年度

事業実施者名： 特定非営利法人フードバンク

所在地： 県 市 1 - 2 - 3

別紙様式 1 に記載した、
事業実施主体名、所在地と
同じものを記載してください。

実施規程第 8 に定める事業実施結果に係る報告の場合には、（ ）内を記載する。

1 事業実施者の概要

代表者	所属・役職	代表理事
	氏名	●●●●
担当者	所属・役職	事務局員
	氏名	▲▲ ○○
	電話番号	00-0000-0000
	FAX番号	00-0000-0000 ※FAX番号がない場合には「なし」と記載してください。
	E-mail	abc@00network.jp

該当する選択肢に○をしてください。
全てに○がついた場合にのみ、支援対象となります。

2 要件確認

(1) 下記に該当する場合に○を記入し、○が記入された場合に、(2)及び3以降の計画表を作成してください。

- 令和3年1月1日以前より、食品の取扱いに当たって「フードバンク活動における食品の取扱い等に関する手引き」(農林水産省公表資料)に基づく又は準じた取扱いを行っている。
- こども食堂等への食品の提供を拡大するためには、現在保有(賃借を含む。)する運搬用車両・一時保管用倉庫・入庫管理機器等では対応が困難であり、受入れ・提供体制の追加的な整備に取り組む計画を有する。

・申請する支援対象経費(賃借料、輸配送費)にかかわらず、(3)で選択したとおりに食品の提供が拡大する見込みであることを具体的に記載してください。
・賃借料を申請する際は、記載例のように、現在保有する設備についても記載してください。
・輸配送費のうち人件費を申請する場合は、現在のフードバンクの職員数(臨時含む)も記載願います。

(2) 事業内容及び実施方法

※事業の趣旨、目的、内容等について記載すること。

当団体は、○○県▲市において、食品関連事業者等からまだ食べられることができる食品の寄附を受けて貧困等により必要な食べ物を十分に入手することができない者にこれを無償で提供するための活動を行ってきた(平成18年設立、年間の食品取扱量○トン(令和2年度))。
令和3年4月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化を受けて、子ども食堂等からの食糧支援の要請が増加し、以前よりも食品の提供料が増加している(令和3年度は、対前年度比2割増となる見込み)。
具体的には、食品企業A、食品企業B・・・等から未利用食品を受け取り、有効活用を図るにあたり、当団体において、従来保有又は賃借している設備のみでは対応が困難となったため、車両、倉庫、在庫管理機器、業務用冷蔵庫の賃借により受入能力の向上を行うものである。

- ・現在の設備:車両はボランティアスタッフの所有するものを活用、倉庫・冷蔵庫はなく事務所の一角に保管、バーコードリーダーも保有していない。
車両:○○社ハイエースバン、最大積載量200kg
・現在の職員数:3人(農林太郎、農林花子、○○○○)

(3) 食品の提供の拡大について、以下ア～エのうち該当するもの最低一つに○を記入するとともに、事業実施結果報告時は、それが説明できるデータを添付してください。

- ア 事業実施期間中のいずれかの月の食品の取扱量の合計が、事業開始の直前の月の取扱量と比較して増加すること
- イ 事業実施期間中のいずれかの月の食品の取扱量の合計が、令和2年度又は令和元年度の同月の取扱量と比較して増加すること
- ウ 令和3年度の食品の取扱量の合計が、令和2年度又は令和元年度の取扱量の合計と比較して増加すること
- エ 事業実施期間中の食品の取扱量の合計が、令和2年度又は令和元年度の同時期の取扱量の合計と比較して増加すること

3 フードバンク活動団体の食品受入能力向上支援のうち運搬用車両・一時保管用倉庫・入出庫管理機器等の賃借料に係る取組計画

整理番号	運搬用車両・一時保管用倉庫・入出庫管理機器等の賃借料						事業実施結果報告時に必要となる確認(注3・4)	
	名称	単価 (円/1日・台) (A) (注1)	見積	日数 (B)	数量 (C)	補助対象経費(円) (A×B×C)	賃借契約の確認	経費負担の確認
1	車両(〇〇社ハイエースバン、最大積載量450kg)	3,000	○	77	1	231,000	○(資料1)	○(資料2)
2	車両(〇〇社トラック、最大積載量500kg)	4,000	○	77	1	308,000	○(資料1)	○(資料2)
3	保管常温倉庫(6坪、〇〇県▲市内)	3,000	○	77	1	231,000	○(資料1)	○(資料2)
4	ワイヤレスバーコードリーダー(〇〇社製、商品コードMM2300)	500	○	59	1	29,500		
5	業務用冷蔵庫(冷蔵ストッカー、容量358L)	5,000	○	31	2	310,000		
6						0		
7						0		
8						0		
9						0		
10						0		
合計(円)						1,109,500	…②	

日額単価が異なる場合は、金額毎に分けて税込みで記載。

具体的にどのような車両・倉庫・在庫管理機器等を賃借するかわかるように記載してください。

原則3社以上の相見積もり(HPの料金表等でも可)し、最安値の1社の見積もり内容が確認できる書類(金額、車両の車種、倉庫等の容量、在庫管理機器の品名等も含めること)を整理番号順に添付し、○をしてください。

・実績報告時に記載する欄のため、申請段階では記載不要。
・ただし、実績報告時には注3~4に記載されている資料が必要となります。その際は記載例のように○を記入し、添付資料の参照箇所がわかるようにしてください(記載例のように資料番号を付ける等)

受入の確認(注5)	○
提供の確認(注5)	○

・実績報告時に記載する欄のため、申請段階では記載不要。
・ただし、実績報告時には注5に記載されている資料が必要となります。その際は記載例のように○を記入し、添付資料の参照箇所がわかるようにしてください(記載例のように資料番号を付ける等)

注1: 賃借料の単価については、月単位等の契約の場合は日割り換算して記載し、1台(1箇所)あたりの日額単価が異なる場合は行を分けて記載すること。
 注2: 事業実施計画提出時には、原則3社以上の相見積もり(HPの料金表等でも可。)により賃借料の検討を行い、そのうち最安の1社の見積もり内容が確認できる書面(金額のほか、車両の車種、倉庫・入出庫管理機器等の品名等の情報も含めること。)を、整理番号順に整理添付し、「見積」欄に「○」を記載すること。
 注3: 事業実施結果報告時には、賃借契約の内容が確認できる書面を、整理番号順に整理添付し、「賃借契約の確認」欄に「○」を記載すること(例:賃借契約の写等)
 注4: 事業実施結果報告時には、賃借料を負担したことが確認できる書面を、整理番号順に整理添付し、「経費負担の確認」欄に「○」を記載すること(例:領収書等)
 注5: 事業実施結果報告時には、食品提供履歴管理表(別紙2)により活動内容を記載の上添付し、「受入の確認」欄及び「提供の確認」欄に「○」を記載すること。
 注: 行は適宜追加すること。

4 フードバンク活動団体の食品受入能力向上支援のうち食品の輸配送支援（他者への依頼による車両単位での輸送又は小口配送便）に係る取組計画

計画作成時点で詳細まで記載困難場合は、過去の実績を基に、食品の輸配送に係る情報を記載してください。

フードバンクで輸配送する食品のうち、本対策で対象とするものについて記載

1箱に入っている個数、個数当たりの重量はg（グラム）で記載

総重量はkg（キログラム）で記載

自動計算で入力されますが、申請者自身においても確認をお願いします。単価よりも低い費用になることが申請時に明らかな場合は、その費用を手入力願います。申請時は単価上限でも、実績で単価よりも低い実費になった場合は、実績報告時には実費を手入力願います。

整理番号	輸配送予定時期	食品提供元又は輸配送先		寄附品の					輸配送の情報					事業実施結果報告時に必要となる確認（注4）		
		名称	所在地（〇〇県〇〇市）	寄附品の名称	箱数（A）	1箱に入っている個数（B）（注1）	1個あたりの重量（g）（C）（注1）	1箱あたりの重量（g）（B×C=D）	総重量（kg）（A×D）	寄附品発地（〇〇県〇〇市〇〇倉庫）（注2）	寄附品着地（〇〇県〇〇市〇〇倉庫）（注2）	輸配送方法（注3）	補助単価（自動入力）	事業費（円）	輸配送経路の確認	輸配送費用負担の確認
1	令和4年3月上旬	株式会社〇〇食品	埼玉県さいたま市	レトルトカレー	100	50	100	5,000	500	埼玉県さいたま市	フードバンク●●〇〇県▲市内倉庫	車両の席車	7	3,500	○（資料3）	○（資料4）
2	令和4年3月上旬	株式会社●●食品	埼玉県さいたま市	チョコレート菓子	100	100	100	10,000	1,000	埼玉県さいたま市	フードバンク●●〇〇県▲市内倉庫	車両の席車	7	7,000	○（資料3）	○（資料4）
3	令和4年3月上旬	子ども食堂A	神奈川県横浜市	レトルトカレー	10	-	-	10,000	100	〇〇県▲市	神奈川県横浜市	小口配送便等	135	13,500	○（資料3）	○（資料4）
4	令和4年3月中旬	子ども食堂B	神奈川県横浜市	チーズ・キャンディーズ	100	-	-	10,000	1,000	〇〇県▲市	神奈川県横浜市	小口配送便等	135	135,000	○（資料3）	○（資料4）
5	令和4年3月中旬	個人世帯30件	〇〇県〇〇市	1週間分セット	30	-	-	2,000	60	〇〇県▲市	神奈川県横浜市	小口配送便等	135	8,100	○（資料3）	○（資料4）
6																
7																
8																
9																
10																
									合計（kg）	2,660.0			合計（円）	167,100		

整理番号1, 2：食品企業からフードバンクへの輸配送を運送業者に委託した場合の記載例。
整理番号3~4：フードバンクから子ども食堂や個人世帯へ小口配送した場合の記載例。

注1のとおり、決まっていなければ記載不要

自動計算のため入力不要（自動計算による計算結果については、申請者自身においても確認をお願いします）。
※ただし、「1箱に入っている個数」「1個あたりの重量」が決まっていない場合には、「1箱あたりの重量」「総重量」が自動計算されないため、申請者自身で数値を入力してください。

令和3年12月20日~令和4年3月31日の間で該当する時期を記載。日付が判明しない場合、記載例のようにしてもかまいません。

実際にその食品がどこからどこまで運ばれる予定なのかわかるように記載してください。
（この記載例の場合、レトルトカレーとチョコレート菓子は、フードバンクの本所在地（事務所）ではなく、フードバンクの倉庫に運ばれる予定）

選択式。輸配送方法が未定の場合でも、可能性の高いものを選択すること。

実績報告時に記載する欄のため、申請段階では記載不要。ただし、実績報告時には（注4）に記載されている資料が必要となります。その際は記載例のように○を記入し、添付資料の参照箇所がわかるようにしてください（記載例のように資料番号を付ける等）

注1：1箱に入っている個数（B）、1個あたりの重量（C）が決まっていない食品の場合は、記載不要である。
 注2：「寄附品発地」欄は、食品の寄附元となる食品企業等又は子ども食堂等への輸配送の出発地となる事業実施者の名称、住所、場所名を記載すること。
 注2：「寄附品着地」欄は、食品企業からの食品の寄附先となる事業実施者又は輸配送の着先となる子ども食堂等の名称、住所、場所名を記載すること。
 注3：「輸配送方法」欄は、ドロップダウンリストの選択肢から選択すること。
 注4：事業実施結果報告時には、輸配送の経路が確認できる書面を、整理番号順に整理添付し、「輸配送経路の確認」欄に「○」を記載すること（例：輸送契約の写、発送伝票の控等）
 注4：事業実施結果報告時には、輸配送費用を負担したことが確認できる書面を、整理番号順に整理添付し、「輸配送費用負担の確認」欄に「○」を記載すること（例：領収書、発送レシート等）
 注：行は適宜追加すること。

5 フードバンク活動団体の食品受入能力向上支援のうち食品の輸配送支援（フードバンクによる輸配送に係る実働に応じた対価）に係る取組計画

計画作成時点で詳細まで記載困難場合は、過去の実績を基に、食品の輸配送に係る情報を記載してください。

整理番号	実施期間	食品提供元又は輸配送先		輸配送に係る業務（フードバンクによる運搬にかかる経費）			事業実施結果報告時に必要となる確認（注3）			
		名称	所在地（〇〇県〇〇市）	輸配送を行う者（氏名）	単価（円/1時間） （A）（注1）	業務時間数 （B）（注2）	補助対象経費（円） （A×B）	輸配送経路の確認	重量の確認（確認書（別紙4））	勤務実態の確認（別紙3）
1	令和3年12月20日～令和4年3月31日	株式会社〇〇食品等	埼玉県さいたま市	農林太郎	930	30	27,900	○（資料5）	○	○
2	令和3年12月20日～令和4年3月31日	株式会社▲▲食品等	埼玉県さいたま市	農林一郎	930	30	27,900	○（資料5）	○	○
3	令和3年12月20日～令和4年3月31日	子ども食堂A等	神奈川県横浜市	農林次郎	930	30	27,900	○（資料5）	○	○
4	令和3年12月20日～令和4年3月31日	子ども食堂B等	神奈川県横浜市	農林花子	930	30	27,900	○（資料5）	○	○
5	令和3年12月20日～令和4年3月31日	個人世帯30件	東京都〇〇市	農林梅子	930	50	46,500	○（資料5）	○	○
6										
							合計（円）	158,100		

事業実施者となるフードバンクの所在する都道府県の令和3年度最低賃金（※以下参照）が単価上限です。これ以下で金額を入力ください（輸配送元・輸配送先の所在する都道府県とは無関係です。）

※厚生労働省：地域別最低賃金の全国一覧
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_rou

・輸配送業務（運搬、それに伴う荷積み・荷下ろし・倉庫内作業）に係る時間のみを記載してください。
 ・輸配送業務と言えない事務作業等は除いてください。

・実績報告時に記載する欄のため、申請段階では記載不要。
 ・ただし、実績報告時には（注3）に記載されている資料が必要となります。その際は記載例のように○を記入し、添付資料の参照箇所がわかるようにしてください（記載例のように資料番号を付ける等）。

・申請時点では、最も多い食品提供元又は輸配送先の名称を記載して「等」を付けて構いません。
 ・実績報告時は個別の食品提供元又は輸配送先の名称を記載ください。

輸配送業務を行う者を、1欄に1名ずつ記載してください。2人で同じ案件の輸配送を行う場合は、1人ずつ欄を分けて記載してください。

注1：輸配送費の単価については、所在地の都道府県の最低賃金（最低賃金法に基づく額）を超えない額を記載すること。
 注2：時間数については、運転を行った時間及びそれに付随する業務（荷積み、荷下ろし、仕分け等）のみを記載すること。
 注3：事業実施結果報告時には、輸配送経路が確認できる書類（日単位）を、整理番号順に整理添付し、「輸配送経路の確認」欄に「○」を記載すること（例：輸配送の出発地・配送先の住所を案件ごとに記載した）
 注3：事業実施者は、食品企業等又は子ども食堂等との間で輸配送を行ったときは、別紙4により、食品企業又は子ども食堂等より寄附品の重量その他につき証明を発行してもらい、事業実施結果報告時には整理番号順に整理添付し、「重量の確認」欄に「○」を記載すること。
 注3：事業実施結果報告時には勤務実態を確認できる書面を、別紙3として整理番号順に整理添付し、「勤務実態の確認」欄に「○」を記載すること
 注：行は適宜追加すること。

6 フードバンク活動団体の食品受入能力向上支援のうち食品の輸配送支援（フードバンクによる輸配送に係る燃料代）に係る取組計画

本事業において申請する燃料代については、他の国・自治体・民間団体から支援を受けていない。
 （上記に該当する場合に○を記入し、○が記入された場合に、下記計画表を作成）

本事業で申請する燃料代以外について、他の国・自治体・民間団体からも燃料代の支援を受けている場合のみ、記載してください。

本事業で申請する燃料代以外について、他の国・自治体・民間団体から燃料代の支援を受けている場合は、その事業名及び所管団体名を記載

事業名：令和3年度〇〇財団助成事業 事業所管団体名：〇〇財団

計画作成時点で詳細まで記載困難場合は、過去の実績を基に、食品の輸配送に係る情報を記載してください。

整理番号	実施期間	食品提供元又は輸配送先		輸配送費（フードバンクによる運搬にかかる経費）			事業実施結果報告時に必要となる確認（注3）			
		名称	所在地（〇〇県〇〇市）	輸配送を行う者（氏名）	単価（円/Km）（A）（注1）	走行距離（B）（注2）	補助対象経費（円）（A×B）	輸配送経路の確認	重量の確認（確認書（別紙4））	勤務実態の確認（別紙3）
1	令和3年12月20日～令和4年3月31日	株式会社〇〇食品等	埼玉県さいたま市	農林太郎	16	100	1,600	○（資料6）	○	○
2	令和3年12月20日～令和4年3月31日	株式会社▲▲食品等	埼玉県さいたま市	農林一郎	16	200	3,200	○（資料6）	○	○
3	令和3年12月20日～令和4年3月31日	子ども食堂A等	神奈川県横浜市	農林次郎	16	300	4,800	○（資料6）	○	○
4	令和3年12月20日～令和4年3月31日	子ども食堂B等	神奈川県横浜市	農林花子	16	300	4,800	○（資料6）	○	○
5	令和3年12月20日～令和4年3月31日	個人世帯3件	東京都〇〇市	農林梅子	16	500	8,000	○（資料6）	○	○
6										
7										
8										
9										
10										
							合計（円）	22,400		

車両による運搬を行う者を、1欄に1名ずつ記載してください。2人で同じ案件の輸配送を行う場合は、1人ずつ欄を分けて記載してください。

単価は走行距離1km16円です。

走行距離については食品の輸配送に要した距離のみを記載してください。（業務と関係のない場所を訪問した分は除いてください。）

・実績報告時に記載する欄のため、申請段階では記載不要。
 ・ただし、実績報告時には（注3）に記載されている資料が必要となります。その際は記載例のように○を記入し、添付資料の参照箇所がわかるようにしてください（記載例のように資料番号を付ける等）

・申請時点では、最も多い食品提供元又は輸配送先の名称を記載して「等」を付けて構いません。
 ・実績報告時は個別の食品提供元又は輸配送先の名称を記載ください。

注1：燃料代の単価については、所在地や走行距離に関わらず16円/kmとすること。

注2：走行距離については食品の輸配送に要した距離のみを記載すること。

注3：事業実施結果報告時には、輸配送経路が確認できる書類（日単位）を、整理番号順に整理添付し、「輸配送経路の確認」欄に「○」を記載すること（例：輸配送の出発地・配送先の住所を案件ごとに記載した資料等）

注3：事業実施者は、食品企業等又は子ども食堂等との間で輸配送を行ったときは、別紙4により、食品企業又は子ども食堂等より寄附品の重量その他につき証明を発行してもらい、

事業実施結果報告時には整理番号順に整理添付し、「重量の確認」欄に「○」を記載すること。

注3：事業実施結果報告時には勤務実態を確認できる書面を、別紙3として整理番号順に整理添付し、「勤務実態の確認」欄に「○」を記載すること

注：行は適宜追加すること。

本様式は、事業実施主体が実績報告時に提出していただくものです。
 (課題提案書提出時・事業申請時には必要ありません)

入荷が事業実施期間内に行われた食品について記載ください。
 (例：入荷が事業実施期間より前の場合は記載不要。
 出荷が事業実施期後より後であっても、入荷が事業実施期間内の場合は記

既に出荷が完了している場合に記載

番号	入荷月 (注1)	品目	総重量 (注2)	食品提供事業者名 (又は氏名)	本事業(賃借料)の 利用状況 (注3)	出荷 完了月 (注1)	主な 受取先名称 (又は氏名)	主な受取先の住所
1		パン	3000kg	株式会社A食品	1、2	2月	子ども食堂	県市 1-2-3
				株式会社B食品			福祉会	県市 2-2-2
2	12月	缶詰		株式会社A食品	1、2	月	子ども食堂	県市 1-2-3
							福祉会	県市 2-2-2
3								
4		お菓子	3000kg	株式会社B食品	1、2、3、 4	3月	子ども食堂	県市 1-2-3
							福祉会	県市 2-2-2
5	1月	お茶	4000kg	株式会社C食品	1、2、3、 4、5	3月	子ども食堂	県市 1-2-3
							福祉会	県市 2-2-2
6								
7		ジュース	4000kg	株式会社C食品	1、2、3、 4、5		子ども食堂	県市 1-2-3
							福祉会	県市 2-2-2
8	2月							
9								
10								
11	3月							
12								

一つの品目について、複数の事業者から提供があった場合は事業者名を全て記載。
 30件以上など多数の場合は、事業者名の後に「等」を付けて省略可能。

本事業で賃借したのものについて利用した場合は、別紙様式第1号の別紙1の3のうち対応する整理番号を全て記載。

注1：事業実施期間に入荷された食品について記載すること。
 注2：総重量が把握できない場合は、ほかに定量的に把握できる数値を記載すること。
 注3：本事業で賃借したのものについて利用した場合は、別紙様式第1号の別紙1の3のうち対応する整理番号をすべて記載すること。
 注：行は適宜追加すること。

別記様式第1号別紙4

本様式は、食品の輸配送の経費を申請した場合に、事業実績報告時に、未利用食品の提供元となった食品企業等、または提供先となった子ども食堂等に記載をいただいた上で、事業実施者のフードバンクから提出していただくものです。（課題提案書提出時・事業申請時には必要ありません）

番 号
令和4年3月10日

特定非営利活動法人フードバンク●●代表理事●●様

フードバンクは、寄附品を受け取った後に本確認書を入力・作成してください。

事業実施者の代表宛てと
してください。

(食品企業等名又は子ども食堂等名) 株式会社◆◆食品
(食品企業等名又は子ども食堂等の所在地) ○○県▲市●●1-1-1
(食品企業等名又は子ども食堂等の代表者氏名) 代表理事 ●● ●●

「フードバンク活動団体の食品受入能力向上支援」の取組に係る
輸配送の確認書

代表者の役職も記載
してください。押印
は不要です。

貴団体は、農林水産省所管事業「フードバンク支援緊急対策事業のうちフードバンク活動団体の食品受入能力向上支援」の取組として、当団体との間で下記のとおり食品の引渡し又は受取りに対応しましたことを証明します。

寄附品毎に、本事業を活用して輸配送した
箱数・重量を記載してください。
(どの寄附品が本対策を活用したものであ
るのかについては、事業実施者と食品提供
元・提供先とよく御確認ください)

記

日付	寄附品	箱数 (箱)	重量 (k g)	引渡し・受取り場所 (住所)
R4年3月10日	レトルトカレー	100	500	株式会社◆◆食品 ○○県▲市内■営業所
R4年3月10日	チョコレート菓子	100	1,000	株式会社◆◆食品 ○○県▲市内■営業所
R4年3月10日	うどん麺 (つるつるうどん)	80	1,680	株式会社◆◆食品 ○○県▲市内■営業所
合 計		280	3,180	

※「フードバンク支援緊急対策事業」に取り組む事業実施者は、事業実施者が自ら車両等により運搬することにより、食品企業等から食品の引き取りを行った又は子ども食堂等へ食品の受け渡しを行ったときには、食品の受取り又は引渡しを行った日付、食品の内容、重量、場所の証明のため、当該食品企業等及び子ども食堂等に対して本様式の作成を依頼し、事業完了時に国へ事業実施結果の報告を行う際に、添付資料として提出すること。